

主な内容

本号は12頁です

- 衆議院議員総選挙
- 山口鷺流狂言
- 常栄寺発掘調査と雪舟

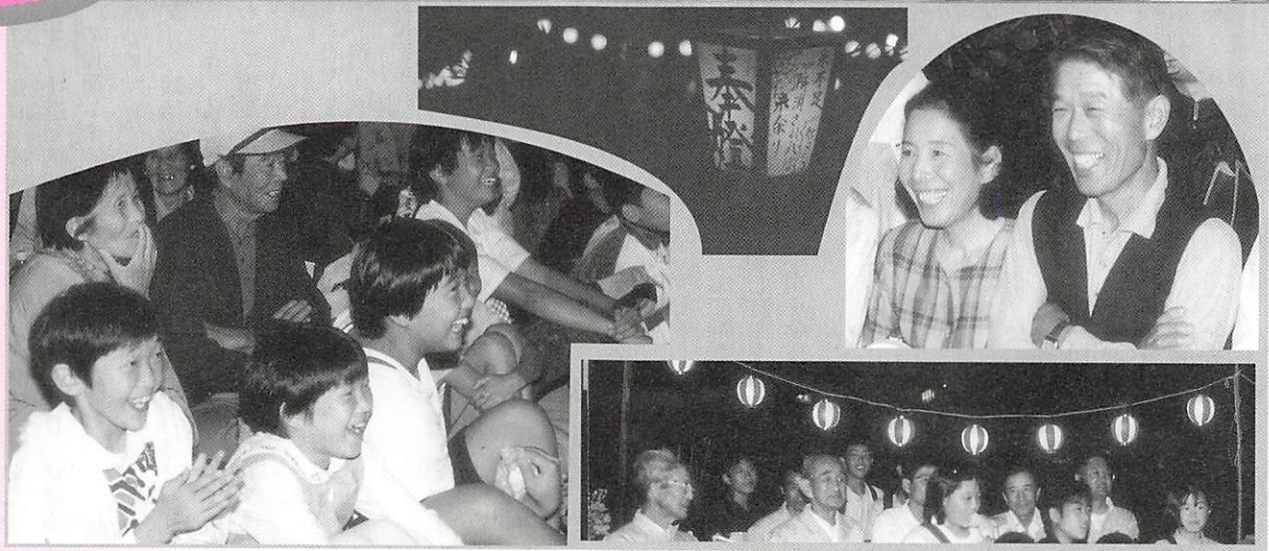
●発行/山口市役所 〒753 山口市亀山町2-1 ☎0839-22-4111 ●編集/企画財政部広報広聴課 ●印刷/山口印刷工業株式会社

市民交通災害共済受付中

毎月15日は、お年寄りの交通安全日
思いやりみんなですすめる交通安全
交通事故状況〈9月〉

- 発生件数 64 (累計 500 / 前年比 -58)
- 死亡者 0 (累計 3 / 前年比 -5)
- 負傷者 68 (累計 575 / 前年比 -25)

やまぐち



「いよ！まってきました」村芝居

秋穂二島・仁光寺集落では毎年秋分の日前日が熊野神社秋祭の前夜祭。子供から大人まで全戸が参加しての「ふれあいまつり」です。公会堂で幼稚園児、小・中学生などの歌や踊り、演劇の出し物が繰り広げられます。まつりの最後を飾るのは今や近隣の集落にまでも評判の「仁光寺玉三郎一座」。6回目の今年の演目は初の青春物「青い山脈」で、初出演の若い奥さんたちの演技や、日頃の生活を取り入れたセリフに拍手と爆笑の連続でした。

10/15
1996年No.1182

■市報やまぐちは再生紙を使用しています。
(上段は、平成8年10月1日現在、下段は今年1月1日との比較)



136,992人
+1,199人



65,641人
+631人



71,351人
+568人



52,818
+968

10月20日 衆議院議員総選挙

未来のためにしつかり一票

衆議院の解散による総選挙が十月二十日（日）に行われます。

この度の選挙は、衆議院議員の選挙制度が中選挙区制から小選挙区比例代表並立制に改正され、初めて行われる選挙です。この制度は、小選挙区選挙と比例代表選挙の二つの選挙によって議員を選ぶこととなります。小選挙区選挙では候補者名を、比例代表選挙では政党名をそれぞれ投票用紙に書いて投票します。

制度が変わっても「選挙の主役はあなたです」。これから、私たちの生活とかわりのある国政を託す人を選ぶ大切な選挙です。政治に無関心と言わず、自分の一票で、明るい未来が築かれる政治の実現のため、こぞって投票しましょう。

なお、衆議院議員総選挙の投票にあわせて最高裁判所裁判官の国民審査も行われます。

投票できる人

- 年齢 昭和五十一年十月十一日までに生まれた人
- 居住条件 平成八年七月七日までに転入届をし、山口市の住民基本台帳に登録され、引き続き現在市内に住んでいる人

投票時間

投票時間は、午前七時から午後六時までです。

投票所入場券

投票所入場券は、はがきで郵送します。

はがき一枚で一人分の入場券となっており、そのまゝ投票所に持参してください。

万一、入場券を紛失された場合は、投票所係員に申し出てくだされば、投票できます。

投票所

投票所は、お届けする入場券でよく確かめてください。

最近、市内転居をされた人の投票所は、次のようになります。

○九月二十七日までに市内転

居の届け出をされた人は、新住所地の投票所になります。

○九月二十八日以降に市内転居の届け出をされた人は、前住所地の投票所になります。

代理投票

身体が不自由で字が書けない人は、代理投票ができます。

代理投票は、投票する人に代わって、補助者が投票用紙に記入するものです。

不在者投票

（投票の秘密は守られます）
投票日に、仕事や入院など

法で定められたやむを得ない理由で、投票所に行くことができない人は、不在者投票ができます。

☆不在者投票ができる場所・期間及び時間

□市役所

十月十九日（土）まで
午前八時三十分から午後五時まで

□出張所

十月十八日（金）まで
午前八時三十分から午後五時まで

※不在者投票をされる場合は、印鑑と投票所入場券をお持ちください。

このほか、病気で入院されている人、老人ホーム等に入室されている人は、病院や老人ホーム等でも不在者投票できます。この場合は、病院・老人ホーム等に問い合わせてください。（左一覽）

開票

即日開票で、十月二十日午後七時四十五分から山口市立平川小学校体育館（山口市大

4111）へ

詳しくは、市選挙管理委員会事務局（市役所一階221）

問い合わせ

字平井1675-2）で行います。

衆議院議員総選挙の投票率調べ

執行年月日	山口市投票率
昭54.10. 7	71.24%
55. 6.22	73.33
58.12.18	72.10
61. 7. 6	74.21
平 2. 2.18	76.60
5. 7.18	71.67

※昭和55年6月22日と昭和61年7月6日の選挙は、参議院と同日選挙でした。

指定を受けている近くの病院 老人ホーム

国立湯田温泉病院、山口赤十字病院、済生会山口総合病院、山口病院、吉南病院、仁保病院、佐々木外科病院、山口若宮病院、柴田病院、山口リハビリテーション病院、県立中央病院、防府温泉病院、小郡第一総合病院、林病院、小郡まきはら病院、山口大学医学部附属病院、シーサイド病院、国立療養所山陽荘病院、阿知須共立病院、阿知須同仁病院

老人保健施設山口幸楽苑、老人保健施設日吉台、老人保健施設あいあい山口、老人保健施設ナーシングホーム湯田温泉、老人保健施設アユス、老人保健施設悠々の里、老人保健施設みのり苑、老人保健施設ニューライフあじす、老人保健施設防府幸楽苑、梅光苑、温泉ホーム日吉台、よしき悠々苑、山口あかり園、白松苑、山口秋徳園、福寿園、サンライフ日吉台、日吉台ケアハウス

最高裁判官の国民審査も

最高裁判所は、憲法と法律を守る重要な役目を持っています。最高裁判所の裁判官は、任命された後、初めて行われる総選挙のとき、国民審査を受け、その後十年ごとに国民審査を受けることが、憲法で定められています。

もし、審査の結果、やめさせた方がよいとする投票が多かった場合は、その裁判官は、やめなければなりません。審査公報や新聞などの記事をよく見て、そして、よく考えて投票しましょう。



政党名を書いて投票



候補者名を書いて投票

小選挙区選挙の投票

比例代表選挙の投票

伝承されて110年

山口

鷺

流

狂

言

山口で鷺流狂言の伝承活動が始められて今年で百十年。十月二十六日には伝承百十年を記念して記念公演が行われます。ここでは狂言の面白さ、魅力などを紹介します。

山口に鷺流狂言が伝わって百十年

山口で最初に鷺流狂言が演じられたのは一八八六年（明治十九年）四月一日に野田神社で神事能として奉納された時だといわれています。このとき狂言を奉納した鷺流狂言の伝承者、春日庄作が山口に移住し、弟子に狂言を教えるなどして活躍したことから山口に鷺流狂言が伝わることになりました。また、昭和四十二年には山口県無形文化財の指定を受けています。

鷺流狂言は、現在、保存会



及び研究会の形で山口と佐渡で伝承されています。

鷺流狂言の面白さ

鷺流狂言の面白さについて、技術保持者の小林栄治さんは「狂言、古典芸能という堅苦しい感じがしますが、そんなことはありません。狂言は身近な題材、庶民的な題材が多いので、非常に親しみやすいものです。また、形にとらわれず、演じる人の個性や持ち味を出すことができるのが鷺流の特徴であり、面白いところだと思います。同じ曲目でも言い回しなどで演じる人の個性や気持ちが出やすいのです。皆さんにそのあたりを見ていただきたいですね。」と話されます。

その一方で「ある程度個性を出すといっても、あくまでも基本を守りながら、崩しすぎないようにするのが難しいですね」と演じる上での苦労を話されました。

山口鷺流狂言伝承百十年記念公演

今回、山口鷺流狂言伝承百十年を記念して記念公演を開催します。

また特に、同じ鷺流狂言の伝承活動が行われている新潟県の佐渡鷺流狂言研究会の方も特別出演されます。

日時 平成八年十月二十六日（土） 十三時三十分開場 十四時開演（終了予定時刻十六時 小雨決行）

場所 野田神社能楽堂

曲目 「不毒」「神鳴」「棒しばり」「末広がり」

※「棒しばり」は佐渡鷺流狂言研究会の特別出演によるものです。

入場料 無料

曲目の解説と見どころ

「不毒」（ぶす）

一休頓智咄で有名な話。砂糖を猛毒と偽って太郎冠者、次郎冠者にその番を言いつけ、主人は出かける。怖さ半分興味半分の二人は扇であおきながら、「不毒」に近づいていく。

砂糖とわかった二人は、とうとうみんな食べてしまう。主人への言い訳にと大事な掛け軸を破り、天目茶碗をこなこなにした二人の運命は…。

この曲は小学校の教科書にも登場しており、良く知られた代表曲の一つです。鷺流の

泣き方は独特と言われています。クライマックスの泣きが聞き所です。

神鳴（かみなり）

京都の医者が西国へ修行の旅に出る。その途中、突然雷が雲の切れ間から足を滑らせて落ちてくる。腰をしたたかに打った雷は医者を見つけ、腰の治療を強要する。医者はおそろおそろ治療を行い、そのかわりに日照りも水害も起こらないようにすることを約束してもらう。

棒しばり（特別公演）

自分が留守の間に家来が酒を飲んでいことに気付いた主人は、ある日家来二人を縛って遊びに出かける。人間、すると言われると、なおさらしたくなるのが常。太郎冠者、次郎冠者も縛られたことで、なおさら酒が飲みたくなくなり、知恵を絞って酒を飲むことに成功する。二人とも縛っておいたので安心して出かけた主人だが帰ってみると…。

末広がり（すえひろがり）

天下太平の世、大名が多くの客を招いて宴を開こうとした。その時お客に「末広がり」を進上しようと思うが、あいにく家にはない。そこで、太郎冠者に買いに行かせるが、うっかり者の彼は「末広がり」

狂言をやってみませんか

山口鷺流狂言保存会は、毎週王曜日十八時から二十一時、山口ふるさと伝承総合センターで小林さんの指導のもと伝習会を行い、十人ほどで伝統の灯を守り続けています。



小林栄治さん

しかし今年六月、安藤方之さんが亡くなられ、技術保持者は小林さん一人になりました。この素晴らしい伝統を絶やさないためにも、あなたも狂言に挑戦してみませんか？ 古典芸能、狂言に興味をお持ちの方、入会は大歓迎ですので、お気軽に保存会事務局の市教育委員会文化課までご連絡ください。

古典芸能、狂言に興味をお持ちの方、また今回の公演に関するお問い合わせなどは、市教育委員会文化課（☎20-4111）まで。

常栄寺発掘調査

雪舟の秋

九月二十一日、宮野の常栄寺で発掘調査の現地説明会がありました。常栄寺といえは雪舟庭。発掘された遺物は雪舟庭の築造された時代や当地と大内氏との深い関係を知るうえで貴重な資料となるものです。

後に画聖と称せられる雪舟の一生をふりかえつてみました。雪舟庭を紅葉がつつまます。

国宝山水長巻や、山水小巻ともいわれる山水図巻も公開されます。

季節は秋。

「雪舟の一日」を楽しみにお出かけになりませんか。

常栄寺発掘調査



常栄寺

常栄寺は臨済宗のお寺で、毛利元就の長男隆元の菩提寺として一五六四年、安芸国

（広島県）吉田に創建されました。毛利氏の防長移封にもない山口の国清寺（現在の洞春寺）に移転し、一八六三年に宮野の当地に移りました。この地は大内教弘夫人の菩提寺である妙喜寺の旧地でした。妙喜寺も毛利氏の防長移封にともない、隆元夫人の菩提寺である妙寿寺とあらためられました。

発掘調査

常栄寺の庫裏改築にともなう調査のため今年六月から行

っていたもので、初の常栄寺境内での発掘調査です。遺構は柱穴、石列のほか、妙寿寺時代と思われる石垣などを検出しました。遺物の出土では、中国明代の青磁や地元産の土師器など室町時代の物が少なからずあり、雪舟庭作庭の時代を推測することができると見られます。特に「手づくね（京都系）かわらけ」は大内氏末期の特徴的な遺物で、大内氏館跡やその周囲からもっとも多く出土しており、ほかでは大内氏



手づくね
かわらけ

時間の経緯というものがありません。巻物は見ているあいだにも時間が人に何かを考えさせます。絵画の技巧だけでなく、作者の持つ奥の深さ、宇宙の広さなどもめられます。山水長巻は、これだけで雪舟の非凡の才を証明しています」

雪舟の名作が見られます

山水長巻

○毛利博物館（防府）国宝展
十一月一日～十二月一日
（月曜日休館、ただし十一月四日開館、五日休館）
入場料 大人一千元
小・中学生五百円

雪舟が見た山口

「山口市の周辺の山並みなどは雪舟のいた頃と同じでしょう。雨上がりの山などびっくりするほど美しい。雪舟と同じ景色を見ているのではなにかという幸せを感じます」

○山口県立美術館雪舟展
十月二十九日～十一月十日
（休館日は右記国宝展と同じ）
入場料 一般百九十円、高大生百二十円、小中生八十円
お問い合わせ
☎〇八三九一二五七七七八
*合わせて「雲谷派の系譜」が十二月十五日まで

山口の美術は

雪舟にはじまる

「地域の歴史や風土からみれば、山口の美術は大内氏時代の雪舟にはじまるといえます。明から帰った後も、京都でなく山口を活動の拠点にしていることは注目すべきです。



山口県立美術館
榎本徹副館長

雪舟の風景のなかにいる 幸せ

山口県立美術館

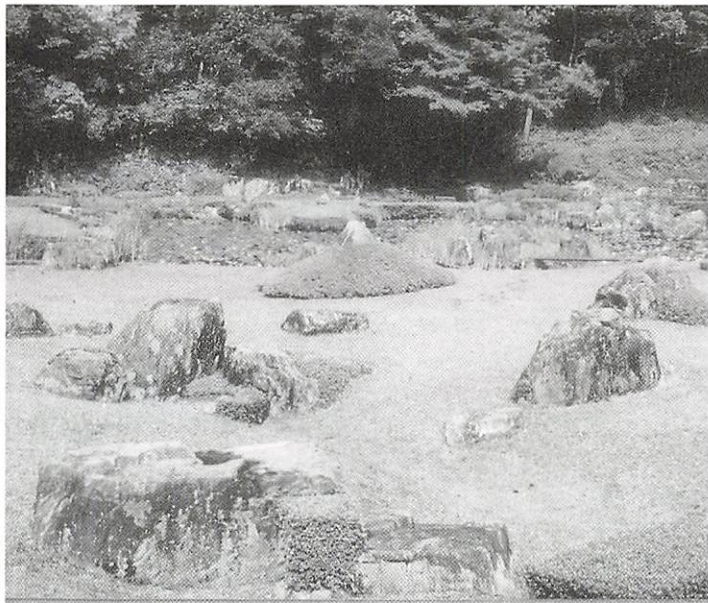
榎本徹副館長

「山水長巻はまさに心の中で再構築された雪舟の理想郷です。心のありよう、心の中で表されるのが山水の世界。自然を再構築する抽象芸術としての作庭。心の中の宇宙を作り上げるといふ基本的理念はまったく同じです」

山水長巻の世界

「一枚の絵は一瞬にしてその全貌が見えるわけですから

県立美術館に雪舟研究会が発足しました。十一月末には講演会やシンポジウムの企画もあり、市民の皆さんの参加を求めています。



国指定 史跡・名勝

常栄寺庭園（雪舟庭）

常栄寺の地は大内教弘夫人（政弘の母）の菩提寺妙喜寺の旧地であり、庭は二十九代政弘が雪舟に依頼して作庭したものとされています。

大内文化を代表する遺物のひとつで、三方を林で囲まれ、水と石とに主体をおいた簡素にして豪放な庭です。

山水長巻を立体化した雪舟庭

常栄寺 安田周山住職

「雪舟禪師が明に渡られたのが応仁元年、応仁の乱がはじまり、三年の在明後帰国し



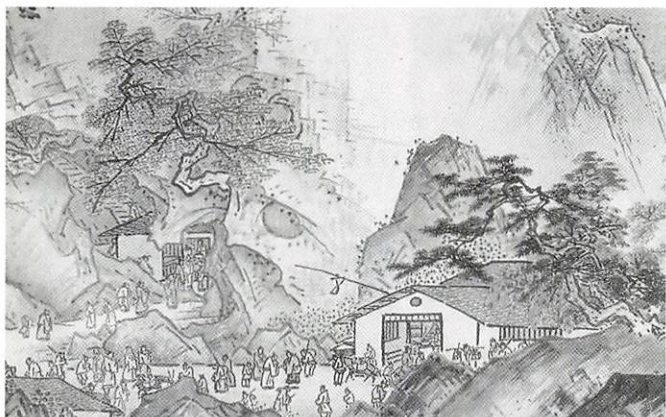
た雪舟禪師と入れ替わりに大内政弘は京に上ります。さらに八年の歳月を経てお二人は再会されます。戦乱で焼け跡と化した京の都を見て、政弘は後の世まで残るものとして、大内氏の威信をかけた立派な庭園の作庭を考えられ雪舟禪師に依頼されたのだと思います。雪舟庭はまさしく山水長巻が立体的に展開されたものと思っ

雪舟と山口

雪舟は一四二〇年備中赤浜（岡山県総社市付近）に生まれました。幼少時に京都の相国寺に入り、青春時代を修行僧としてすごします。この時代に画僧周文に水墨画を学びました。

雪舟が山口に来たのは大内氏二十八代教弘の時代。一四六四年、雪舟四十五歳の時に天花の雲谷庵（または軒）で活動を始めていたことがわかっています。

大内文化の特色のひとつでもある京洛文化への憧れは、多くの京の文化人を山口へ招いたことからもうかがわれますが、雪舟はその代表的な人物です。



国宝 四季山水図（山水長巻）秋景部分—毛利博物館蔵—

また、雪舟の来山の原因のひとつとして、大内氏と大陸との交流があげられます。絵の勉強のため、中国（當時明国）へ渡りたかった雪舟にとって大内氏はその夢をかなえてくれる人でした。



今がつけ一 雪舟の像 雪舟の像 雪舟の像 雪舟の像

希望どおり遣明船のつて明に向かったのは一四六七年 応仁元年のことでした。宋元画の画風などを学んだ明での勉強は、雪舟の画家としての成長の大きな要素とな

ります。初期の代表作のひとつ「四季山水図」（東京国立博物館蔵）はこの時描かれています。一四六九年帰国後北九州を巡歴、一四七三年山口に戻り、翠年山水図巻（山口県立美術館蔵）を描きます。その後、一時期豊後（大分）に移住、さらに全国を巡っています。最高傑作といわれる「山水長巻」は一四八六年、六十七歳の時の作。雲谷庵で描かれました。

その後も雪舟は山口を拠点に各地を歩いたようですがその足跡は定かではありません。一五〇六年八十七歳の時山口で没したといわれています。

国宝 雪舟筆「四季山水図」（山水長巻）

「雪舟は当時六十才。人としても、画家としても円熟の境地に達していたであろう彼にとって、この山水長巻ともよばれる長大な画巻は、渡明し、諸国を遍歴した彼の生涯の集大成である。」—毛利博物館の解説より抜粋—山水長巻は大内氏から毛利氏の所蔵となり、昭和四十一年に毛利博物館に寄贈されました。

大内文化を継いだ毛利氏 毛利博物館梅田正館長

「毛利輝元は雲谷等顔に十六メートルにも及ぶ山水長巻を模写さし、雪舟派の継承を命じています。毛利氏のもとで雲谷派は防長二州で大に行われました。」

雪舟のみならず大内文化の総体を毛利氏が引き継いだのは、毛利氏が学問の公家である大江家をはじめとした文化度の高い家系であることが背景にあると思います」

雪舟駒つなぎの絵馬

小僧さんの頃、叱られた雪舟が、足を使い涙でネズミの絵をかいた話が有名ですが、山口にもこんな話が伝わっています。



天然記念物イチョウの木や鼓の滝でも有名な吉敷の龍藏寺に雪舟が描いたと伝えられる一面の絵馬があります。雪舟の描いた絵馬が奉納され観音堂にかかけられてまもなく、吉敷の里では夜な夜な何物かが田畑を踏み荒らし、農民を困らせていました。

ある夜、張り込みをして待つ農民たちの前にあらわれたのは一頭の黒い裸馬。足跡をたどっていくと、なんと龍藏寺の山門に入り、観音堂の前でふっと消えていました。

絵馬の馬が抜け出すのだということになり、雪舟に頼んで手綱を書き加えてもらったという話です。

—市史山口の伝説より—

山口文化協会の活動と歩み



第25回 前期 山口市民文化祭

プログラム

- ◇11月2日（土）～4日（月・休）
市民会館
午前10時～午後5時（4日は4時半まで）
○写真展（展示ホール）、
○絵画・書道・染色展（展示ホール）
○盆栽展（大ホールロビー）
○俳画展（大ホールロビー）
- ◇11月3日（日）・4日（月・休）
市民会館
午前10時～午後4時
華展・お茶席（茶券 300円）
○総合華展（小ホール）
○煎茶席（大ホールロビー）
○抹茶席（展示ホール）
- ◇11月4日（月・休）
諸部門・邦楽
市民会館大ホール
午後1時～4時
○太鼓、腹話術、奇術、
新舞踊
邦楽
○箏曲
○尺八

山口文化協会は「文化都市」山口市の文化団体がまとまって市民文化の向上に役立てようと結成され、昭和四十四年三月三十日に市福祉センターで発会式が盛大に行われました。



昭和44年3月30日の発会式

昭和四十年代に入って文化協会設立の機運が高まり、昭和四十二年暮れごろから協会設立の話合いが何度も行われ、約四百日の準備期間を経てようやく設立に至ったものです。

昭和四十六年には山口市民会館が完成したことにより、協会の活動の拠点ができ、山口市美術展覧会、日本舞踊大会、邦楽大会、その他の展覧会、講演会など充実した活動ができるようになりました。

昭和五十二年の文化祭から、ふるさと山口にちなんだ創作作品に取り組みようになり、昭和五十四年、三代会長竹原哲史氏が就任し、創作作品への取り組みがますます意欲的になり、創作劇第三作「山口ふるさと歳時記」は山口に伝えられている民話八つを春夏秋冬に綴ったものです。

文化には創造と伝統の保持の二つがある。山口市民はとかく伝統の保持に重きを置がちのようです。文化の創造の方に力を入れて欲しいと思います。

山口市民文化祭は現在十部門八十一団体が加入している山口文化協会が開催するイベントです。プログラムのとおり今年も邦楽、展示、華展などが行われます。皆さん多数お出かけください。今回は山口文化協会の歩みと活動を紹介いたします。

この年吉田松陰をテーマにした「峠の涙松」に「維新の歌シリーズ 留魂吉田松陰」を日本舞踊、箏曲、尺八、詩吟、合唱の総勢五十二人で発表し好評を受けました。

その後も毎年市民文化祭が開催され、創作劇が公演されました。そのうち主なものとして「峠の涙松」「大内盛衰記」「山口ふるさと歳時記」「フランク・シスコサビエル異聞」「中也の抒情」「韻（ひびき）、飛翔する雪舟」「それぞれの中也思考」などがあります。

現在、加入団体は、文芸部門、美術部門、舞踊部門、華道などの生活文化部門、奇術などの大衆芸能部門、邦楽部門、洋楽部門、演劇部門、山口鷲流狂言保存会などの文化財部門、その他盆栽、園芸など八十一団体、会員数は約五千人と発展しました。

和四十二年暮れごろから協会設立の話合いが何度も行われ、約四百日の準備期間を経てようやく設立に至ったものです。

昭和四十七年十一月三・四日、市民会館全体を使って第一回市民文化祭・総合華展が華々しく開かれました。昭和五十年、二代会長八木宗十郎（当時重樹）氏を中心にさらなる会の運動は活発に行われるようになり、文化祭も前夜祭を「市民芸能まつり」の名称で市民参加番組として新しい試みが行われるようになりました。

創作劇は、いずれも演出責任者がその年ごとに代わり、文化協会の各部門が出演に協力して成果を挙げており、毎回好評を博しています。

事務局は市文化課に置かれています。



竹原会長の話

また、山口市美術展覧会は市と共催で毎年開催し、今年

市民の文化に対する意識は高くなっています。市民文化祭も文化協会の会員が増え、出場団体が多くなり、年二回に分けて開催しなければならなくなりうれいですね。



激歩 やまぐちスーパーナイトウォーク

「がんばりましょう、もう少しじゃないですか」と、道端に座りこんでいる人に励ましの声。みんなが助け合いながら、湯田公民館から名田島公民館までの36.2kmのうち、佐山公民館など、それぞれの目標地点まで完歩しました。

「まなぼうやまぐち'96」のひとつとして、9月27日の夜8時から翌日の朝6時まで歩き続けた「やまぐちスーパーナイトウォーク」。7歳から77歳までの104人が参加しました。

「生涯学習の中で最も大切なチャレンジ精神をもつこと、優しい思いやりの気持ちを育てることを目的としました」と公民館主事などで構成されるスーパーナイトウォーク実行委員会。

一番鳥の声を聞き、田園地帯の直線コースを歯を食いしばって歩き、最終地点の名田島公民館がやっと見えたとき、「おつかれさまでした」という大きな横断幕が目に入りました。たくさんのスタッフが拍手で出迎えています。「まなぼうやまぐち」開催日、夜明けの光景です。

参加者の感想

中秋の名月と一緒に歩いた10時間。足は痛いけれど、このような経験はめったにできないことなので、今とても充実した気分です。(50代女性) ▶一人では完歩出来ません。知らない人達に応援されて出来ました。(館山広司さん) ▶子や孫におみやげ話が持ち帰れます。朝食のおいしかったこと...。夜明けの空の美しかったこと...。最後に自分の足をほめてあげたいです。(50代女性) ▶やったーと思った。(松村大祐くん) ▶明け方、足の痛みと眠気でフラフラする子供を励まししながら、最後は親子で励まし合いながら、二人でバンザイしたゴールは一生忘れられない感動でした。何でも頑張ればやり遂げられるということを手伝った子供の、これからの自信につながれば...と思っています。(松村和美さん) ▶二鳥出張所から小学3年生の男の子をばげしながら歩きましたが、彼が最後まで歩いた時は本当にうれしかったな。(原田隆志さん) ▶人間、やればできるんだ、ということ。そして、その時に、そばに仲間がいてくれることのうれしさ、を感じました。職場の仲間と参加し、周防大橋でのお月見だんごは、おいしかったナ。(20代女性) ▶最後のオニギリとあつあつの豚汁とってもおいしくお代わりをしました。(50代女性) ▶一人ではできないことも人様の力をかりてすることができるのです。今の私があるのも自分だけの力ではありません。今度は私が他の人に力をかけてあげなければ、つくづく思っています。(伊藤雅祐さん) ▶初めてのウォーク。歩く楽しさからつまさまで経験しました。多くの人と話ができて良い思い出となりました。(伊藤頼夫さん) ▶長距離を歩くというイベントに初めて参加してみて、1歩1歩が大切なんだなあとと思った。また、人と人が助け合い、はげまし合うことはいいことだなあとあらためて感じる事ができた。(20代) ※アンケートより抜粋

皆さんに学ぶことの喜びや楽しさを体験していただくこと、山口市生涯学習推進本部では、「山口市生涯学習推進大会まなぼうやまぐち'96」を九月二十八日に行いました。

第三回を迎えるこの度は、湯田公民館とサンフレッシュ山口市が会場。「私のまちの○○づくり」をテーマとして、募集した企画にもとづき、応募者の方々が体験の場を提供。情報づくり、健康づくり、体力づくりなど十四の○○づくりを紹介しました。

ひとつの目標に向けて集まった人々は、きっと何かを見つけたことでしょう。

生涯学習とは、生活の向上や仕事の能力の向上、あるいは豊かに生きるために、自分の意思で生涯にわたって学ぶ

夢中になること 見つめました

山口市生涯学習推進大会

まなぼうやまぐち'96開催

各コーナーは次のとおりです。

食生活を見直してみよう
インディアカ初心者教室
大古本市、
「地球にやさしい都市やまぐち」をめざして
各情報展示コーナー
(以上市企画)



「ふれあいづくり」
手作りおもちゃコーナー
(おやこ劇場企画)



「生きがいづくり」
柳屋小満ん独演会
(SPAISY企画)



「情報づくり」
インターネット体験 (市企画)



「体力づくり」
ニュースポーツ教室
(市企画)



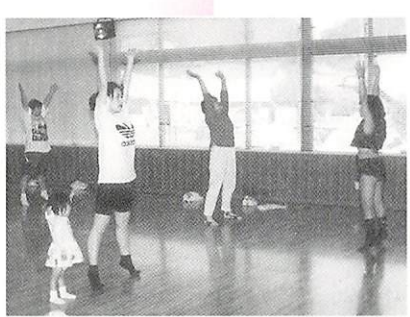
「これからの健士」
表者 矢野一三

「健康づくり」
体験発表
「大腸ガン克服とこれからの健康」
(矢野一三さん企画)

病氣と闘った体験と健康を保つために気をつけることを講演された矢野さん。「人間が学ぶということは経験すること、見ることも、知ることすべてです。机について勉強することだけが学ぶということではありません」と生涯学習についても述べられました。

「体力づくり」
体験
有酸素運動「エアロビクス」
(秋山清美さん企画)

エアロビクスを皆さんに教えられた秋山さんは「高齢者の方など皆さんにエアロビの楽しさをわかってもらえれば」と思って企画しました」とまぶしい笑顔です。





「赤い羽根」共同募金運動

「赤い羽根」共同募金運動が全国一斉に始まった10月1日、佐内市長、杉山市議会議長などが道場門前アーケード街で街頭募金への協力を呼びかけました。今年はこの運動が始まって50年。「1人じゃない、みんな一緒に生きていく」をキャッチフレーズに街頭募金やチャリティーゴルフ大会などが開かれます。この運動で集められたお金は福祉施設の整備などに使われます。

（運動は12月31日まで）



思いやり みんなですすめる 交通安全 交通安全健民運動実施

平成8年秋の交通安全健民運動が交通安全山口県対策協議会の主催で9月21日から30日まで実施されました。市内では、交通安全祈願祭を初日に鑄銭司で行い、国道2号を自動車15台、市役所から大歳・宮野を軽トラック30台でパレードするなど、市ほか交通安全に関する各種団体が行事を開催。佐内市長も24日、朝の早間田交差点に立ち、通勤される皆さんの安全を見守るなど積極的な運動を展開しました。

この交通安全健民運動は、毎年、春と秋に行われている全国交通安全運動のひとつ。今回は、秋の行楽シーズンを迎え、高齢者の交通事故防止、シートベルトの着用の徹底、「スピードダウン運動」の徹底を重点目標としました。

また、運動の名前には、山口県で開催された国民体育大会（昭和38年）のときに提唱された、まちを明るくする「健民運動」という言葉が昭和40年から生かされています。



中村稔会長のあいさつ

中野の会創立記念大会

中原中也の作品を愛する人や研究者が広く交流し、中野とその作品についてもっと理解を深めるため「中原中也の会」が発足しました。9月22日、湯田温泉で開かれた総会で中村稔氏（詩人・弁護士）を会長に選出、午後の創立記念大会には県外の会員を含む約120人が参加し、文芸評論家の秋山駿氏の講演やシンポジウムが行われました。

今後の会の活動は機関誌「中原中也研究」の編集や会報の刊行のほか、研究集会、講演会、文学散歩も企画されます。副会長の福田百合子中原中也記念館館長も「専門家だけの会ではないので中野ファンの入会をお待ちしています」と呼び掛けています。

会についてのお問い合わせは、中原中也記念館（☎32-6430）まで。

「アートふる山口」を前に歴史などを学ぶ

「アートふる山口」のボランティアガイドを務める「ハートふるガイド」の初めての研修会が9月28日菜香亭などであり、本番に備えて学びました。「ハートふるガイド」は「アートふる山口」実行委員会（委員長・森生信雄山口青年会議所理事長）が募集し、市内外から高校生など40人の女性が集まりました。「アートふる山口」総括責任者の河野康志さんから周辺にある各展示場の内容や史跡についてスライドを見ながら解説を聞いたあと郷土史家・内田伸さんの案内で大内館跡や維新の史跡・十朋亭などを回り、ガイドブックを見ながら熱心に勉強しました。ガイドは当日会場内を5ブロックに分かれて来場者にイベントの内容、観光地や史跡なども案内します。アートふる山口は「一の坂大路小路をあそぶ」のサブテーマで10月26・27日の2日間、一の坂川沿いや堅小路などで行われます。



技術指導造園技師 帰国報告

日本庭園建設の技術指導ため9月8日から姉妹都市・パンブローナ市に派遣されていた山口市造園協会の技師がこのほど帰国し、報告のため、9月25日市役所を訪れました。

岡本薫団長から「12月のオープンに向け、工事は順調に進んでいる」と報告を受けた佐内市長は団員らを「ご苦労さまでした」とねぎらい、現地の写真を見ながら詳しい様子を聞いていました。



けんこくあわ めきほしき 献穀粟の抜穂式

9月22日、秋穂二島で新嘗祭に献上する献穀粟の抜穂式が行われました。奉耕者の安田典右さんご夫妻、佐内市長、二井県知事をはじめ17人の抜穂者が献耕田で黄金色に実った五十鈴粟を抜穂、安田さんは「真心と細心の注意を込めて収穫し、宮中へ献納します」とあいさつをされました。

人生80年時代 まだまだ頑張ります

元気な高齢者に生きがいと就業の場を提供する『シルバー人材センター』をもっとよく知ってもらおうと、10月2日、中市商店街を中心に街頭キャンペーンが行われました。

センター会員や事務局職員をはじめ、佐内市長も一緒に買い物客らにパンフレットを配布し、シルバー人材センターの紹介や会員募集を呼びかけました。

同センターでは毎月第3火曜日午後2時から、上堅小路のしあわせプラザで入会説明会を開催しています。



地区文化祭・公民館まつり

公民館や小学校を会場に「文化祭」や「公民館まつり」が開催されます。

みなさんお誘い合わせのうえ、お出かけください。



アユのおいしい季節です

10月2日、平川にある榎野川漁業協同組合（高石敏男代表理事組合長）から山口市養護老人ホーム福寿園にアユ150尾が贈られました。同漁協では毎年この時期にアユの寄贈をされており、今年で23回目。高石組合長は「今が一番アユのおいしい時期です。皆さんにぜひ温かいうちにアユを食べていただきたいですね」と話されました。アユは塩焼き、味噌汁にされ、昼食に出されました。



ふしの川愛護俳句・標語の優秀作品が決まる

榎野川漁業協同組合主催の「ふしの川漁協まつり」（9月8日開催）で募集した、ふしの川愛護俳句・標語の優秀作品が以下のとおり決定しました。

「おさかなも ホタルもいっぱい ふしの川」（西山哲生くん・良城小4年）

「伝えたい 自然の宝 ふしの川」（篠原貴博くん・大内南小5年）

「美しく 未来へ残そう ふしの川」（山本智美ちゃん・陶小6年）

地区	行事名	期日
湯田	湯田ふるさとまつり	10月19日(土)・20日(日)
宮野	宮野まつり	11月3日(日)
二島	ふたじまつり	11月3日(日)
嘉川	嘉川文化祭	11月3日(日)
白石	白石フェスティバル	11月9日(土)・10日(日)
吉敷	吉敷ふるさとまつり	11月10日(日)
大歳	大歳まつり	11月10日(日)
鑄銭司	鑄銭司ふるさとまつり	11月10日(日)
大殿	大殿公民館祭	11月17日(日)
小鯖	小鯖公民館まつり	11月17日(日)
平川	平川まつり	11月17日(日)
陶	陶地区文化祭	11月17日(日)
仁保	仁保大農業まつり	11月23日(土)
名田島	名田島ふるさとまつり	11月24日(日)
佐山	佐山地区文化祭	11月24日(日)

モニター短信

湯田

ふるさとまつり

今年もいよいよ「湯田ふるさとまつり」がやって来ます。

ふるさとづくり推進協議会では、ちびっこが楽しみにしている温泉プールに、もちろんミニスライダーを設置。ちよつぱり寒そうに思えても、温泉だから大丈夫。夜には星空観望も。おだんごをほおばりながら、自分の星座を捜してみようか!

会場では、その他たくさんグループがいろんな催しを出かけてみませんか。

◇会場 湯田公民館

◇温泉プール

・十月十九日(十四時)〜十七

松陰の道(萩往還)歩行大会

- 期日 11月10日(日)小雨決行
- 集合時間・場所 午前9時 Aコープ大内店駐車場(車は道路側に駐車してください)
- 行程 Aコープ大内店駐車場〜重岩〜乗福寺〜山根観音堂〜妙見社〜長野八幡宮(昼食)〜大塚古墳〜柘脱隊諸士招魂碑
- 参加料 無料
- 申し込み 10月25日までに山口県教育会山口支部(☎22-0383)または大内公民館(☎27-0473)へ
- ※昼食は各自で用意してください。

ソシユアルダンス教室

- 日時 11月1日〜平成9年1月10日までの毎週金曜日、午後7時30分〜9時
- 場所 山口南総合センター
- 講師 (財)日本ボールルームダンス連盟1級指導者・釘崎信顕先生、4級指導者・小野早苗先生
- 受講料 2,000円(実費)
- 募集人員 40人(先着順)
- 申し込み 10月18日から山口南総合センター(名田島1218-1 ☎32-8333・小郡72-8333)へ

緑化教室(生垣の管理)

- 日時 11月9日(土)午後1時〜4時
- 場所 維新百年記念公園野外音楽堂
- 内容 生垣の管理について
- 講師 (財)日本造園修景協会山口県支部支部長・椿泰秀氏、山口市造園協会会長・多々良孝一氏他
- 参加料 500円
- 募集人員 50人(先着順)
- 申し込み 10月28日〜11月1日の間に氏名・年齢・住所・電話番号を(財)山口県公園協会(☎22-2754)へ
- ※当日は選定作業のできる服装で、選定はさみを持参してください。

動くふるさと教室

参加者募集

今年の「動くふるさと教室」では、現場を中心に広く山口市を学ぶ「やまぐち再発見コース」と、市内の毛利氏ゆかりの地をたずねる「山口の毛利氏コース」の二つを用意しました。

季節は秋、色づくふるさとを貸し切りの市営バスでめぐってみませんか。

【やまぐち再発見コース】

普段は見ることのできない現場を中心に、行政・文化・産業と発展し続ける山口市の「今」を、広く見学するコースです。

☆期日 十一月十五日(金)

☆行程 市役所前庭〜リサイクルプラザ建設現場〜山口ふるさと伝承総合センター〜中原中也記念館〜湯田公民館(昼食)〜天然記念物大イチョウ(龍蔵寺)〜下水道ミニシールド工法工事現場〜名田島花づくり〜佐山ハビテーション造成現場〜市役所

【山口の毛利氏コース】

中国地方十か国の領主となつた戦国時代の武将、毛利元就。このコースでは、市内の毛利氏ゆかりの地を訪ねます。
☆期日 十一月十六日(土)



☆行程 市役所前庭〜藩庁門〜洞春寺〜香山墓所〜露山堂〜枕流亭〜五重塔〜築山館跡〜山口ふるさと伝承総合センター(昼食)〜豊栄神社〜野田神社〜龍福寺〜常栄寺〜市役所

- 集合時間 午前九時三十分
- 対象 市内に在住または通勤・通学をしている人
- 参加料 無料(昼食代として七百円を持参してください)
- 募集人員 各八十人(応募者多数の場合は抽選)
- 申し込み 往復はがきに希望日・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、十月三十一日までに市広報広聴課(亀山町二一 ☎22-4111)へ



湯田地区広報広聴モニター 内山久美子さん

大歳老人クラブ

フォークダンス

今年の七月から、老人クラブの中にフォークダンスをとり入れるようになり、第一、第三木曜日の午後のひとときを、大内小の小林五郎先生の指導のもとに皆さんで楽しんで踊っております。いつも二十数人が集まりますが、男性が少ないので、男役の女性は胸に青いリボンをつけます。

日本の歌をはじめ、アメリカ、イスラエルの曲まで、ゆつくりした曲からテンポの速い曲までありますが、音楽が鳴りだし、一、二、三、とリズムを口ずさむうちに身体が自然に動きだして、皆さんいつの間にか背すじがピンと伸びて楽しそうに踊っております。時々パートナーを見失う



大歳地区広報広聴モニター 竹岡洋子さん



催し物とお知らせ

福祉の市

市社会福祉協議会創立45周年記念

- 日時 10月27日(日)午前10時～午後3時
- 場所 維新百年記念公園野外音楽堂周辺
- 内容 チャリティーバザー、軽食コーナー、福祉相談コーナーなど
- 問い合わせ 市社会福祉協議会(☎24-0543)へ

'96くらし再発見! いきいきフェア

- 日時 10月19日(土)午前10時～午後5時 20日(日)午前10時～午後4時
- 場所 維新百年記念公園内スポーツ文化センター
- 内容 くらしを見つめ直すコーナー、即売・実演コーナーなど
- 問い合わせ 県庁県民生活課(☎33-2608)または市生活環境課(☎22-4111)へ

じばさんフェア '96

- 日時 10月19日(土)・20日(日)午前10時から
- 場所 デザインプラザHOFU(防府市八王子2-8-9)
- 内容 特産品の展示即売など
- 問い合わせ デザインプラザHOFU(☎0835-25-3700)へ

第10回流通センターまつり

- 日時 11月3日(日)午前10時～午後4時
- 場所 山口県流通センター広場・山口勤労者会館周辺(朝田601-3)
- 内容 大ビンゴ大会、食料品・日用品・家電の販売コーナーなど
- 問い合わせ 山口県流通センター(株)(☎21-2100)へ

山口南総合センター 名画シアター

- 期日 11月10日(日)
- 時間 午前10時30分～、午後2時～(2回上映)
- 場所 山口南総合センター(名田島1218-1)
- 上映フィルム 「蔵」
- 入場料 無料
- 問い合わせ 山口南総合センター(☎32-8333・小郡72-8333)へ

募集コーナー

母親心理学訓練講座

- 日時 11月5日～26日の毎週火曜日、午前9時30分～正午
- 場所 山口県婦人教育文化会館
- 内容 「母親の言葉の影響」「素晴らしい家庭を築くために」など
- 講師 新家庭教育協会顧問 米澤文恵先生
- 受講料 5,150円(テキスト代含む)
- 募集人員 15人(先着順)
- 申し込み 10月25日までに山口県婦人教育会館(湯田温泉五丁目1-1☎22-2792)へ

中小企業大学校

- 期日 11月26日(火)・27日(水)
- 場所 デザインプラザHOFU(防府市八王子2-8-9)
- 内容 経営革新をめざす企業の人材育成
- 対象 中小企業の経営者・後継者・管理者
- 受講料 22,000円
- ※市内の事業所の方には受講料の補助があります。事前に市商工観光課(☎22-4111)へご連絡ください。
- 募集人員 40人
- 申し込み 中小企業大学校広島校研修課(☎082-278-5800)へ

市民パソコン講座

- 日時 11月18日～29日の月・水・金曜日、午後7時～9時(計6回)
- 場所 山口コンピュータ専門学校(富田原町2-23)
- 内容 ワープロの基礎
- 対象 初心者
- 募集人員 30人(応募者多数の場合は抽選)
- 受講料 1,600円(教材費)
- 申し込み 往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、11月5日(必着)までに市地域開発課(亀山町2-1☎22-4111)へ

自衛官募集

- 募集種目 医科・歯科幹部および婦人自衛官看護 ※中途採用
- 受付期間 10月21日～11月11日
- 応募資格 医科・歯科幹部：医師・歯科医師の免許取得者
婦人自衛官看護：看護婦免許を有し36歳未満の者、または看護婦免許取得見込みの者
- 問い合わせ 自衛隊山口募集案内所(☎25-8231)へ

保育サービス講習会

- 日時 10月25日～12月13日までの毎週金曜日、午前10時～正午(11月8日・22日・29日・12月13日は午前9時から)
- 場所 山口市働く婦人の家
- 内容 「心の発達とその問題」「身体の発達と病気」「保育するにあたって」「身体の発達と病気」「事故から子供を守る」「子供の遊び」など
- 受講料 無料(テキスト代2,250円)
- 募集人員 25人(先着順)
- 申し込み 往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・講座名を記入し、山口市働く婦人の家(湯田温泉五丁目1-1☎21-1929)へ

11月の不燃物収集日

1日(金)	嘉川
5日(火)	佐山
6日(水)	久保小路・新馬場・松の木町・大市諸願・古熊・上古熊・田町・一本松・陶・鑄銭司
7日(木)	下金古曾・木町
8日(金)	米屋町・西朝倉・西惣太夫・角下市町
11日(月)	熊野・野田・大殿大路・上堅小路・天神通り・太刀壳
12日(火)	八幡馬場・三和町・西滝・元町
13日(水)	今道・大附・名田島・秋穂二島
14日(木)	大内
15日(金)	仁保
18日(月)	荒高・天花・天花畑・東滝・元町西
19日(火)	平川
20日(水)	清水・中讃井・小鯖
21日(木)	吉敷・新橋・西門前
22日(金)	中市・今市・中後河原・下後河原・前町
25日(月)	下堅上・東糸米・東白石・西白石・西糸米
26日(火)	宮野
27日(水)	(上・中・下)道場門前・鰐石・今小路・新天街・新道・新町・新丁・早間田・中河原・竜王町
28日(木)	大蔵
29日(金)	東朝倉・東惣太夫・朝倉中央・上金古曾

編集後記

▽いよいよ、衆議院の総選挙が十月二十日(日)に行われることになりました。この度の選挙は、衆議院議員の選挙制度が改正され、初めて行われる選挙となり、国民にとってもこの結果が非常に関心の高い選挙となっております。

▽本市におきましても、「山口市明るい選挙推進協議会」とともに、街頭啓発などを行い棄権防止に努めています。市民の皆さんも選挙のもつ重要な意義を改めて認識していただき、清き一票をお願いします。

一日合同行政相談

○日時 10月23日(水)午後1時半(1時受付開始)

○場所 市民会館小ホール

○費用 無料

○相談担当者 山口地方
法務局・広島国税局
務相談室山口分室・山口
県消費生活センター・山口
社会保険事務所・山口土木建

委員・心配ごと相談員・
山口行政監察事務所・
行政相談委員・弁護士
○問い合わせ 山口行政
監察事務所行政相談
課(☎31-100) また
は市広報広聴課市民相談室
(☎22-4111)へ

健康コーナー

貧血教室

- 日時 11月27日(水)午後1時30分～4時30分
- 場所 市保健センター(糸米二丁目6-6)
- 内容・講師
 - ・「貧血とは?貧血とはなぜ起こる?」済生会山口総合病院内科医師 矢野秀先生
 - ・「貧血を改善するための食事について～上手に鉄分を取る方法～」済生会山口総合病院栄養科長 岡村協子栄養士
- 対象 基本健康診査の結果、貧血があるとされた方
- 募集人員 30人(先着順)
- 受講料 無料
- 申し込み 11月20日までに市保健センター(健康増進課☎21-2666)へ

女性のためのヘルスチェック ～振り返ろうよ、自分の健康～

- 場所 市保健センター(糸米二丁目6-6)
 - 対象 18～39歳までの女性市民
 - 募集人員 80人(先着順)
 - 受講料 無料
 - 申し込み 10月31日までに市保健センター(健康増進課☎21-2666)へ
- ※託児があります。

回	月 日	内 容
1	11月11日(月) 午前9時～	健康チェック(問診・聴打診・血圧測定・血液検査・尿検査・身体計測・体脂肪計測)健康パネルの展示説明ほか
2	12月6日(金) 午前9時30分～	健康チェックの結果説明～結果から始める健康づくり～(必要な方には個別相談あり)

子宮がん集団検診

- 期日・場所 11月20日・山口南総合センター/11月21日・市保健センター
- 受付時間 午後1時30分～2時
- 対象 30歳以上の市民
- 料金 600円
- ※70歳以上の方、生活保護、市民税非課税世帯(全ての世帯員が市民税を課税されていない場合)の方は無料
- 申し込み 市保健センター(健康増進課☎21-2666)へ

胃がん集団検診

- 期日・場所 11月12日～14日・市保健センター/11月15日・山口南総合センター
- 受付時間 申し込み時にお知らせします
- 対象 40歳以上の市民
- 料金 700円
- ※70歳以上の方、生活保護、市民税非課税世帯(全ての世帯員が市民税を課税されていない場合)の方は無料
- 申し込み 市保健センター(健康増進課☎21-2666)へ
- ※当日は朝食・たばこ・水・茶・薬など一切口にしないでください。

高齢者健康づくり教室

- 日時 10月21日・11月18日・12月18日・1月20日・2月17日・3月17日、午後1時30分～3時30分
- 場所 山口南総合センター(名田島1218-1)
- 内容 軽作業やレクリエーション
- 対象 おおむね60歳以上の方
- 募集人員 15人程度
- 申し込み 市南保健センター(☎小郡72-9850)へ

乳幼児特別クリニック

- 期日 11月11日(月)
- 受付時間 午後1時～1時30分
- 場所 山口環境保健所(葵二丁目5-69)
- 対象 発育・発達について心配のある乳幼児
- 申し込み 山口環境保健所保健指導班(☎22-51111)へ(予約制)

催し物とお知らせ

第20回山口県・第18回山口市都市緑化祭

- 日時 10月19日(土)・20日(日)午前9時～午後4時
- 場所 維新百年記念公園野外音楽堂前広場
- 内容 植木市、苗木の格安販売、農産物加工食品販売、緑化相談コーナー、剪定実技講習会、バザー、お祭りコーナーなど
- ※19日は県・市町公園写真展、緑化スケッチ展、植木市のみ
- 問い合わせ 市都市計画課(☎22-4111)へ

神田一般廃棄物最終処分場土曜閉庁のお知らせ

- 4月から、市清掃事務所の週休2日制実施に伴い、神田一般廃棄物最終処分場への不燃ゴミの持ち込みは月～金曜日となっています。
- みなさまのご理解とご協力をお願いします。
- 問い合わせ 市清掃事務所(☎22-1770)へ

山口都市計画下水道(公共下水道)の変更案を縦覧

- 市下水道建設課では、公共下水道計画の変更案の縦覧を行います。
- 当該計画の案について、縦覧期間満了の日までに市に意見書を提出することができます。
- 縦覧期間 10月25日～11月8日
 - 縦覧場所・問い合わせ 市役所2階下水道建設課(☎22-4111)へ

中国地区矯正展

- 日時 10月26日(土)午前9時30分～午後4時30分 27日(日)午前9時～午後3時
- 場所 山口県体育館(中園町)
- 内容 日用品、革製品、洋裁品などの展示・即売など
- 問い合わせ 山口刑務所企画部門(☎22-1452)へ

自動車事故対策センターからののお知らせ

- 自動車事故で死亡、または重度の後遺障害になった人などに次の制度があります。
- 交通遺児等育成資金(無利子)の貸し付け
 - 対象 自動車事故で死亡、または重度の後遺障害になった人の子ども(0歳～中学卒業)
 - 金額 一時金151,000円 毎月19,000円 入学支度金43,000円
 - 返還 月賦等による20年以内の均等払い。進学の場合、在学中は返還を猶予
 - 重度後遺障害者介護料
 - 対象 自動車事故で頭部・脊椎に損傷を受け、常時介護を必要とする重度後遺障害者
 - 介護料 1日につき4,000円(自宅介護料2,000円)支給
 - 問い合わせ 自動車事故対策センター山口支所(吉敷3236-1/山陽ビル吉敷2階☎24-5419)へ

(財)やまぐち角膜・腎臓等複合バンク

滝町1-1/県庁医務課内
 ■フリーダイヤル
 0120-12-1110

人から人へ 愛のプレゼント

「広い世の中で自分を必要としている人がいて、それは自分でなければならぬ。人のためではなく自分のための提供であったと考えている」これは、骨髄を提供された方のお話です。

骨髄に限らず角膜や腎臓についても、提供しようという決断は、自分と向き合い、よく納得した上でなければなりません。大変重い愛のプレゼントです。決して、他人から強制されて提供するものではありません。

角膜障害で目の不自由な方、腎臓の病気で透析治療を受けている方、白血病などで入院を繰り返している方が移植を心待ちにしています。あなたを必要とし、あなたでなければならぬという方が、確かに待っているのです。